

学校教育目標	一人ひとりがもてる力を発揮し、みんなと一緒に育つ ～一人ひとりの願いや思いを大切に、生きる力を育む～						
	創立 8 周年	学校長 加藤 貴久	副校長 小田 紀子	2 学期制			
学校概要	幼児・児童・生徒数: 69 人	幼稚部: 人	小学部: 48 人	中学部: 14 人	高等部本科: 7 人	専攻科: 人	

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力を踏まえた 「(12)年間で育てる子ども像」と具体的な取組
<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション力 <ul style="list-style-type: none"> ・社会性 ・自己表現力 ・自己決定力 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の良いところや可能性を伸ばし続ける意欲のある子ども ○思いやりと支えあいを大切にしながら困難をしなやかに乗り越える子ども ○自分の考えや思いを伝え様々な人とつながりあえる子ども <p>・「一人ひとりがもてる力を発揮し、みんなと一緒に育つ」ことを基盤とした授業づくりと授業改善を重ねて全教職員が12年間の教育のつながりを意識して取り組む。</p> <p>・地域の小中学校や地域と連携しながら、開かれた学校づくりを推進していく。</p>

中期取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ○卒業後の豊かな生活の基盤となるよう、小学部から高等部まで一貫した指導を行います。 ・一人ひとりの良さを生かす取組みを行い、自尊感情を育むとともに、安心して楽しい学校生活が送れるようにします。 ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を進め、自分の気持ちや考えを表現する力を育てます。 ・身体の状態に合わせて運動の機会を設け、身体を動かす楽しさを実感するとともに、体力の向上と健康の保持を図ります。 ・様々な体験を通して自分の好きなことや得意なことを伸ばそうとする態度を育てます。 ・地域の方々やボランティアとともに活動する経験を通して社会とのつながりを深めます。
---------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

重点取組分野		具体的な取組
知	「個別の指導計画」等の活用	①本人や保護者の思いを反映させた「個別の教育支援計画」及び「個別の指導計画」を作成し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な授業づくりを行う。 ②児童生徒の実態を把握して自立活動と各教科等の目標設定・手立ての検討・評価をチームで行う。
徳	道徳教育の充実	①ICT機器を活用などの方法を工夫して自ら選択したり、できることを増やしたりする体験と、互いに認め合う経験を重ねて自尊感情や自己有用感を育む活動に取り組む。 ②様々な人とのかかわりや地域とのつながりの大切さに気づく学習活動を展開する。
体	食育、健康の保持、身体の動き	①児童生徒の興味関心を大切にしながら、主体的な食に関する体験や学習活動を継続して行う。 ②PT・OT・ST・医師等の助言や自主的な研修での学びによる専門性を生かして、児童生徒が自分の身体や健康について理解を深める学習活動を展開する。
公開	自分づくり教育（キャリア教育）	①児童生徒一人ひとりの思いや長所を把握して、自分らしい生き方の選択を広げる学習活動を展開する。 ②保護者進路学習会の開催や福祉事業所動画の公開、関係機関での研修等、進路に関する情報を提供し、児童生徒が卒業後の生活について見通しをもちやすい環境を整える。
いじめへの対応		①児童生徒の情報について教職員で共通理解を図り、一人ひとり一貫性のある指導支援を行う。 ②未然防止のために、児童生徒の様子や対人関係等について、保護者と連絡帳や面談で情報共有を図る。 ③グループウェアの活用など迅速な情報共有を通して、学校全体の組織的な連携を強化する。
人材育成・組織運営(働き方)		①日頃の授業実践や校内授業研究会、年次研修、様々な分野の研修会等において、主体的に自身の力量を高めるとともに互いに育て合う職場環境を整える。 ②組織的なOJTを推進し、特別支援教育に関する専門性の向上と継承を行う。
センター的機能の取組		①関係機関や地域の小・中学校等と連携しながら、相談支援・研修等を通して特別支援教育の充実を図る。 ②障害特性に応じた指導・支援の専門性を整理・共有し、助言や情報提供を行うことで、地域全体の特別支援教育に携わる教職員の指導力向上に寄与する。
通学支援		①スクールバス事業所、通学支援事業所及び乗務員等と連携を強化し、安全な通学の環境を整える。 ②福祉車両に対するニーズを教育委員会事務局と共有してスクールバス乗車が困難な児童生徒の通学支援体制を整える。
安全管理		①研修や訓練等を通して課題を分析しながら、組織的な取組で災害時における最善策を構築する。 ②ヒヤリハット事例を迅速に共有するなど、教育活動でのリスクを低減する方策を講じる。 ③多様化する医療的ケアの事例を医師の助言を参考にしながら精査・検証して、組織的に対応する。
地域連携		①地域の方々为学校ボランティアとして参画しやすい仕組みづくりを推進する。 ②関係する区の自立支援協議会に参加して、把握した情報や課題を学校全体で共有する。 ③学校運営協議会等を通して学校への理解と地域とのつながりを深める取組みを継続する。
担当	進路地域	